

チリ中部沖地震・津波災害に関する第 1 次現地調査について

平成 27 年 9 月 17 日、チリ中部沖でマグニチュード 8.3 の地震が発生した。この地震に伴う津波によりチリ沿岸部では最大で 4m を越える高さの津波が観測されています。港湾空港技術研究所はこれまでチリ国と共同で地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム「津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究」を行ってきており、本研究プロジェクトの一環として今回の津波災害の現地調査をチリ国の研究者と共同で実施致しますのでお知らせ致します

記

<調査概要>

期間 : 平成 27 年 9 月 20 日～27 日

調査地 : チリ・コキンボ～バルパライソ周辺の沿岸部

調査内容 : 沿岸部における津波の状況および港湾周辺の被害状況の把握、
住民への聞き取り調査

調査団員 :

国立研究開発法人 港湾空港技術研究所

海洋情報・津波研究領域 領域長 富田 孝史

海洋情報・津波研究領域 主任研究官 高川 智博

海洋情報・津波研究領域 研究官 千田 優

国土交通省 国土技術政策総合研究所

沿岸海洋・防災研究部 主任研究官 本多 和彦

報道解禁日 9 月 18 日 (金) 14:00

【問い合わせ先】

国立研究開発法人 港湾空港技術研究所

企画管理部 企画課

課長 谷川 晴一 (代表) 046-844-5010 (内線 5140)、(直通) 046-844-5040

アジア・太平洋沿岸防災センター

副センター長 富田 孝史 (代表) 046-844-5010 (内線 5250)、(直通) 046-844-5052
(携帯) 080-3416-2763

国土交通省 国土技術政策総合研究所

管理調整部 企画調整課

課長 赤城 尚宏 (代表) 046-844-5006 (内線 3131)、(直通) 046-844-5019